



鬼のはなし

節分には「福は内、鬼は外」と声を出して豆まきをします。でも、そもそも鬼とはどういう存在なのでしょう？ 現代に伝わる鬼の文化や伝承を読み解ける、鬼にまつわる本を紹介します。

【展示図書から】

「どこかで鬼の話」 奥田 継夫／著 （人文書院）

桃太郎やこぶとり、一寸法師などの昔話に登場する鬼、鬼ごっこなど遊びの中の鬼、各地の伝承の鬼。鬼はいろいろな形で現代に根付いています。童話作家の著者が、様々な視点で鬼について読み解き、考察します。

○ 鬼が登場する小説・昔話

「千年鬼」 西條 奈加著 （徳間書店）

「鬼の大江戸ふしぎ帖」 和田 はつ子／著 （宝島社）

「鬼譚」 夢枕 獏／編著 （立風書房）

「鬼譚草子」 夢枕 獏 天野 喜孝／著 （朝日新聞社）

「鬼神伝 鬼の巻」 高田 崇史／著 （講談社）

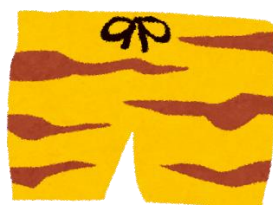
「あめだま」 田辺 青蛙／著 （青土社）

「鬼の橋」 伊藤 遊／著 （福音館書店）

「泣いた赤鬼」 浜田 廣介／文 浦沢 直樹／画 （小学館）

○ 鬼の研究・雑学

- 「鬼の研究」 馬場 あき子／著 (三一書房)
- 「鬼の風土記」 服部 邦夫／著 (青弓社)
- 「鬼の系譜」 中村 光行／著 (五月書房)
- 「鬼のいる光景」 楊 暁捷／著 (角川書店)
- 「鬼の復権」 萩原 秀三郎／著 (吉川弘文館)
- 「鬼の思想」 綱澤 満昭／著 (風媒社)
- 「鬼の伝説」 邦光 史郎／著 (集英社)
- 「鬼の話」上・下 文 彦生／編 (青土社)
- 「鬼の日本史」上・下 沢 史生／著 (彩流社)
- 「鬼の絵草子」 南 清彦／著 (叢文社)
- 「鬼むかし」 五来 重／著 (角川書店)
- 「百鬼夜行の見える都市」 田中 貴子／著 (新曜社)
- 「大人のための妖怪と鬼の昔ばなし」 (綜合図書)



編集・発行：さいたま市立与野図書館

さいたま市中央区下落合 5-11-11 TEL 048-858-7816

平成 29 年 2 月